



ロータス東海の ちらしつ通信



2025年8月号

日本の偉大な教育者、鈴木大拙（だいせつ）は、日本の禅仏教を西洋に広めた人物として知られています。彼の生涯は多くの困難と挑戦に満ちていますが、常に人々に平和と理解をもたらすことを目指していました。

した。数年後、その男性は再び大拙の元を訪れました。彼は以前の自分とは違い、穏やかな表情で大拙にこう言いました。「先生のおかげで、私は自分自身と向き合い、他者を理解することの大切さを学びました。そのおかげで、心の平安を得ることができました。」

「あなた自身がその答えを見つけたのです。私の言葉はきつかけに過ぎません。これからも、自分と他者を理解し続けてください」と答えました。

A vintage laboratory apparatus, possibly a vacuum system or a piece of industrial equipment, mounted on a wooden base. It features a vertical metal frame with a horizontal crossbar at the top, a small circular opening, and a flexible black hose attached to the side. The base is a dark, rectangular wooden platform.

ジャッキは、自動車や重い物体を持ち上げるための工具で、16世紀に初期の形が登場しました。最初は木製の装置が使われていましたが、18世紀になると金属製になり、さらに19世紀に油圧式ジャッキが発明され、現代の形に近づきました。

ジャッキという名前は、イギリスでの通称で、もともとは「Jack」（男の子や人夫）を意味し、力持ちを連想させることがあります。ガレージジャッキとかフロアジャッキと呼ばれるこ

「Jack」という名前は、イギリスでの通称で、もともとは意味し、力持ちを連想させることがあります。ガレージジャッキとから付けられたと言われています。ガレージジャッキとかフロアジャッキと呼ばれることもあります。

したり、油圧式ジャッキの場合
はレバーを操作したりするこ
とで、車両を持ち上げます。
持ち上げることで、タイヤ交
換や下部の修理作業が可能に
なります。

自動車整備では、車体を持
ち上げる作業にジャッキが欠
かせません。特に油圧式ジャッ
キは、重い車両も簡単に持ち
上げることができるので、整
備士にとって重要な工具で
す。安全に使用するために
は、必ず落下防止の為にジャ
ッキスタンドを併用し、作業
中の車両の安定を確保す
ることが大切です。

ロータス工具クラフト

④你成功地让别人服气吗？为什么？

す。
ロータスクラブはCO₂削減
に取組んでいます



わかなちゃんの 万国博覧会

ブリュッセル万国博覧会（1958年）

1958年、ベルギーで開催された
ブリュッセル万国博覧会は、第二次世界大戦後初めての大規模な国際博覧会でした。「人間の進歩と科学」をテーマに、アトミウムと呼ばれる巨大な鉄の結晶構造がシンボルとして展示されました。

代表的な展示物には、未来の家や最新の家電製品、原子力技術が含まれていました。特に、アトミウムはその斬新なデザインと未来的なコンセプトで多くの来場者を魅了しました。

この博覧会の成果は、戦後復興を果

たした各国の技術力と創造力を世界に示し、冷戦下における平和的な国際交流の重要性を強調したことになります。また、科学技術の進歩が人類の未来に大きな影響を与えることを広く認識させました。

日本館では、伝統的な工芸品や美術品の展示が行われ、特に日本の陶磁器や織物が高く評価されました。これにより、日本製品の国際市場での評価を高める一助となりました。この博覧会を通じて、日本は戦後復興の成果と技術力を世界にアピールし、国際的な地位をさらに確立しました。

まりーちゃんの ヘアスタイルの歴史

経済成長がピークに達し消費文化が花開いたバブル期の女性の「アヘアスタイルは、豪華さと派手さが際立つもので、高揚感や自信を反映し、社会的なステータスを示す一つの手段でもありました。最も象徴的なスタイルは「ワーレン・ボディコン」です。ワーレンは「ワーレン・ボディコン」の略で、髪を一つの長さで揃えるスタイルで、長いストレートヘアで顔周りにレイヤーを入れず、シャープで洗練された印象を与えます。特に、前髪を作らずサイドに流すスタイルが人気でした。これにボディコンシャスファッシュョンを合わせた「ワーレン・ボディコン」は、バブル期の象徴的なファッショントになりました。また「バーマニア」や「ソバージュ」と呼ばれるスタイルが人気でした。ソバージュは、フランス語で「野性的」

という意味で、髪全体に細かくウェーブをかけてボリュームを出し。華やかでセクシーな印象を与え、夜の社交場やパーティーシーンで多く見られました。大きなリボンや「アバンド、ラメ入りの「アピングなど、髪を飾るアクセサリーが多く使われ、全体のスタイルに華やかさと個性を加え、より一層ゴージャスな印象を与えました。

（アスタイルを含め、バブル期の豪華で大胆なファッショントレンドは、経済的な豊かさとそれに伴う自信や精神を表現し、一種の

ステータスシンボルとなっていました。

（写真）

（左）

（右）

（上）

（中）

（下）

（左）

（右）